

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年10月20日 (2016.10.20)

【公開番号】特開2015-116400(P2015-116400A)

【公開日】平成27年6月25日 (2015.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2015-041

【出願番号】特願2013-262746(P2013-262746)

【国際特許分類】

A 4 7 K 10/38 (2006.01)

【F I】

A 4 7 K 10/38 H

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月31日 (2016.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも第 1 側板を有する筐体と、
前記第 1 側板から伸延し、且つ、ロールペーパーを回転可能に支持する支持軸と、
前記第 1 側板に向って傾斜しつつ伸延し、且つ、複数の予備のロールペーパーを前記支持軸方向に滑走可能に保持する保持部と、
前記保持部に保持された最下部の予備のロールペーパーの下側の端面に係止するストッパと、
を有することを特徴とするロールペーパー供給装置。

【請求項 2】

前記支持軸が、前記ストッパとして機能している、請求項 1 に記載のロールペーパー供給装置。

【請求項 3】

前記筐体の表面を覆う表板を更に有し、
前記表板は、ユーザが、前記保持部で保持されている予備のロールペーパーを前記支持軸に挿入するための開口部を有している、請求項 2 に記載のロールペーパー供給装置。

【請求項 4】

前記支持軸の長さは、ロールペーパーの幅よりも長く、前記支持軸の端部は、前記保持部と前記第 1 側板との間に位置する、請求項 3 に記載のロールペーパー供給装置。

【請求項 5】

前記支持軸の高さは、前記保持部に保持された最下部の予備のロールペーパーの下側の端面の中心穴の上端よりも高く且つ下側の端面の上端よりも低い、請求項 4 に記載のロールペーパー供給装置。

【請求項 6】

少なくとも第 1 側板を有する筐体と、
前記第 1 側板から伸延し、且つ、ロールペーパーを回転可能に支持する支持軸と、
前記第 1 側板に向かって傾斜しつつ伸延し、且つ、複数の予備のロールペーパーを前記支持軸方向に滑走可能に保持する保持部と、
前記保持部に保持された予備のロールペーパーの中心穴の方向が前記支持軸と平行となるように、予備のロールペーパーの方向を変更する案内部と、

を有する、ことを特徴とするロールペーパー供給装置。

【請求項 7】

前記筐体の表面を覆う表板を更に有し、

前記表板は、ユーザが、中心穴の方向が前記支持軸と平行となっている予備のロールペーパーを前記支持軸に挿入するための開口部を有している、請求項 6 に記載のロールペーパー供給装置。

【請求項 8】

前記筐体は、前記表板と対向する背板を更に有し、

前記案内部は、前記背板から前記表板に向かって湾曲しつつ延伸する第 1 方向転換部を有する、請求項 7 に記載のロールペーパー供給装置。

【請求項 9】

前記案内部は、前記第 1 方向転換部の湾曲面に配置され、予備のロールペーパーを後方から支持する予備ロールペーパー後方支持部を更に有する、請求項 8 に記載のロールペーパー供給装置。

【請求項 10】

前記案内部は、前記保持部から前記表板に向かってに延伸する第 2 方向転換部を更に有する、請求項 8 又は 9 に記載のロールペーパー供給装置。

【請求項 11】

前記案内部は、前記保持部と前記支持軸との間に配置され、方向を変更するときに予備のロールペーパーが衝突する衝突部を更に有する、請求項 8～10 の何れか一項に記載のロールペーパー供給装置。

【請求項 12】

予備のロールペーパーは、予備ロールペーパーの中心穴が支持軸の延長上に位置するように案内される、請求項 6～11 の何れか一項に記載のロールペーパー供給装置。

【請求項 13】

前記筐体は、前記第 1 側板と対向する第 2 側板を更に有し、

前記保持部は、前記第 2 側板から傾斜しつつ延伸する第 1 傾斜部と、前記第 1 傾斜部に平行に配置される第 2 傾斜部とを有する、請求項 1～12 の何れか一項に記載のロールペーパー供給装置。